

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

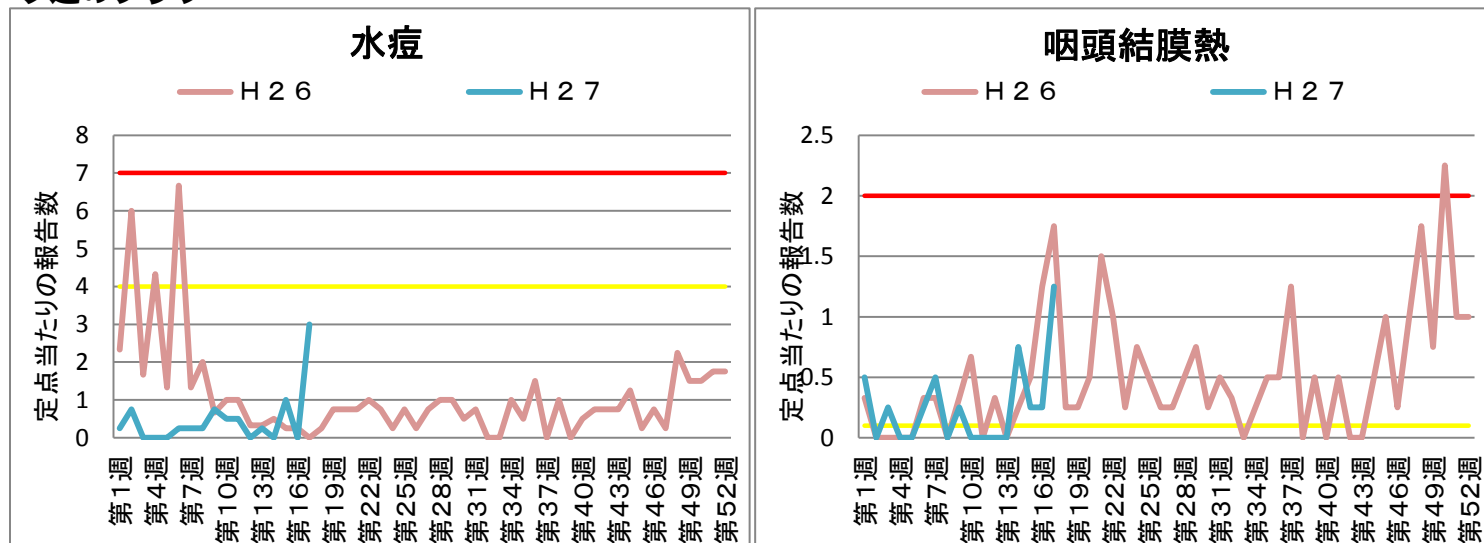
(小児科定点、インフルエンザ定点)

第 17 週 平成27年4月20日 ~ 平成27年4月26日

今週のコメント

水痘の報告が定点あたり3.0件と増加しています。水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘・带状疱疹ウイルスの初感染によって発疹が生じる急性感染症です。空気感染、飛沫感染、接触感染を感染経路とし、感染力の強い感染症なので注意が必要です(潜伏期間:主に14~16日)。有効な予防策は水痘ワクチンを接種することです。水痘ワクチンの1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘も含めてその発症を予防できると言われています。昨年10月から水痘ワクチンは定期接種となりました(生後12~36か月未満)。1歳になったら早めに1回目を接種し、3か月以上の間隔をあけて、標準的には1回目接種から6~12月後に2回目を接種します。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	1	手足口病	1
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	0.75
咽頭結膜熱	1.25	突発性発しん	1.5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.75	百日咳	-
感染性胃腸炎	6.5	ヘルパンギーナ	0.25
水痘	3	流行性耳下腺炎	-

定点当たりの報告数 = 一週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数: 7箇所、小児科定点数(インフルエンザ以外の疾病): 4箇所

参考資料等

報告週対応表

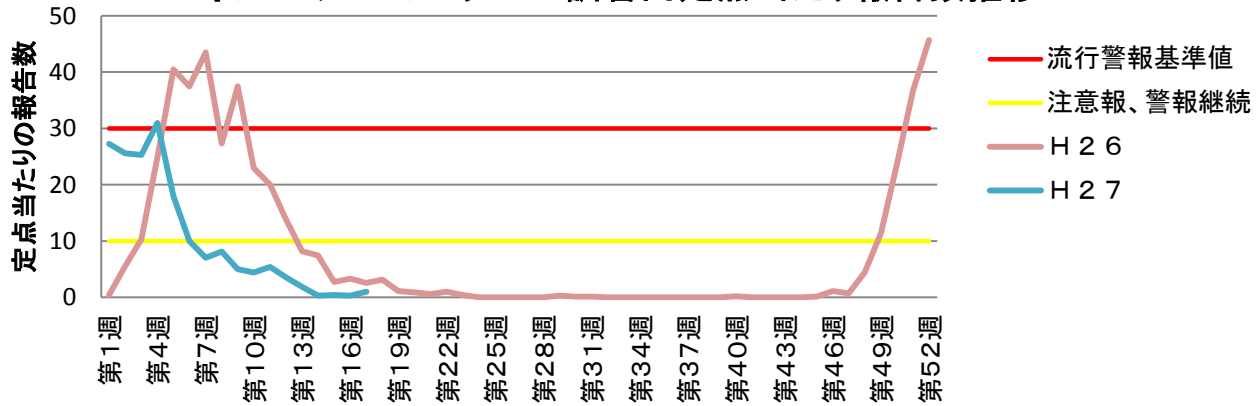
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

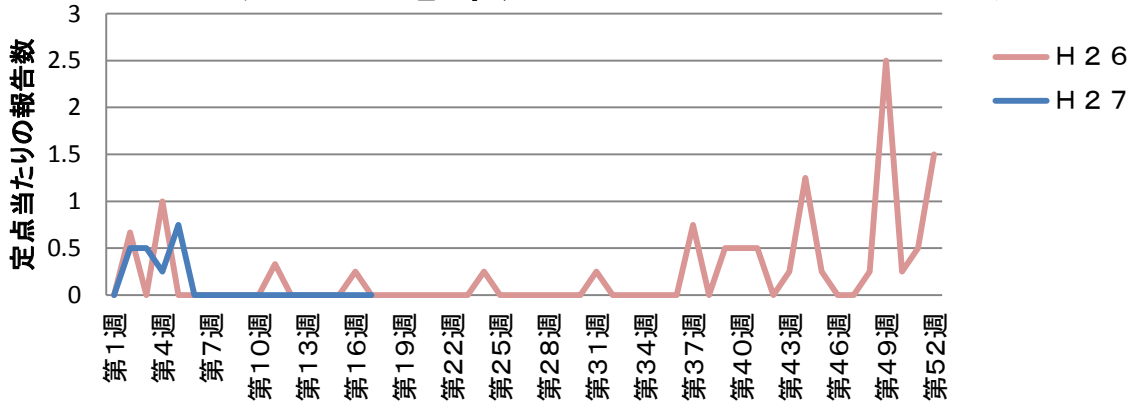
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点報告による各疾病の推移

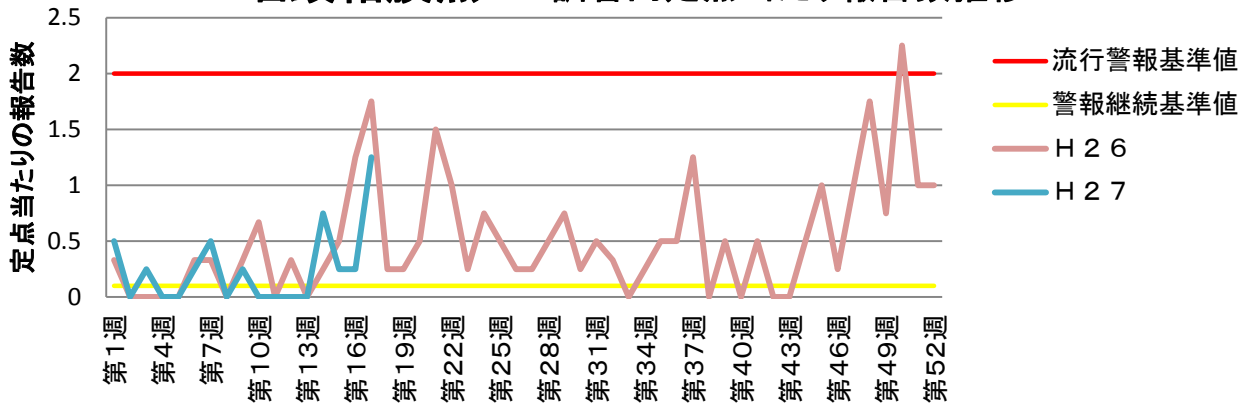
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



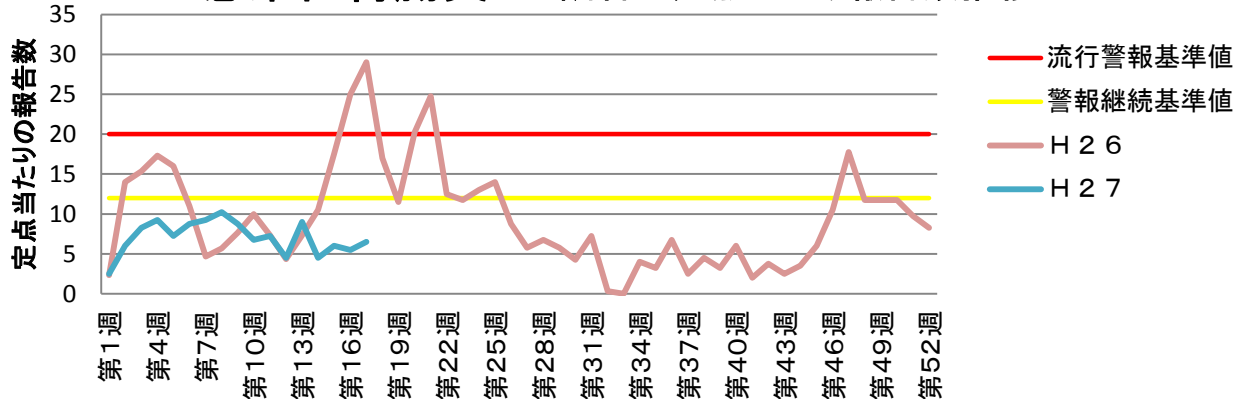
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



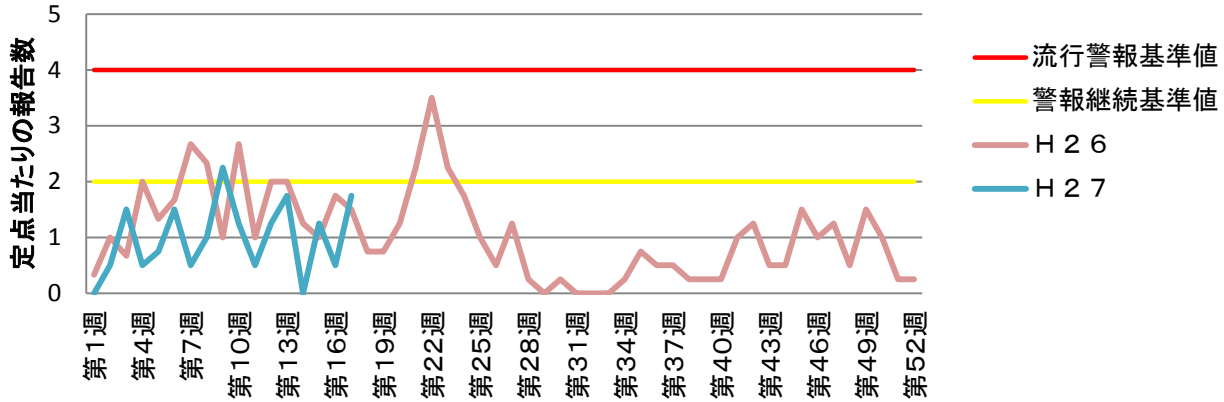
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



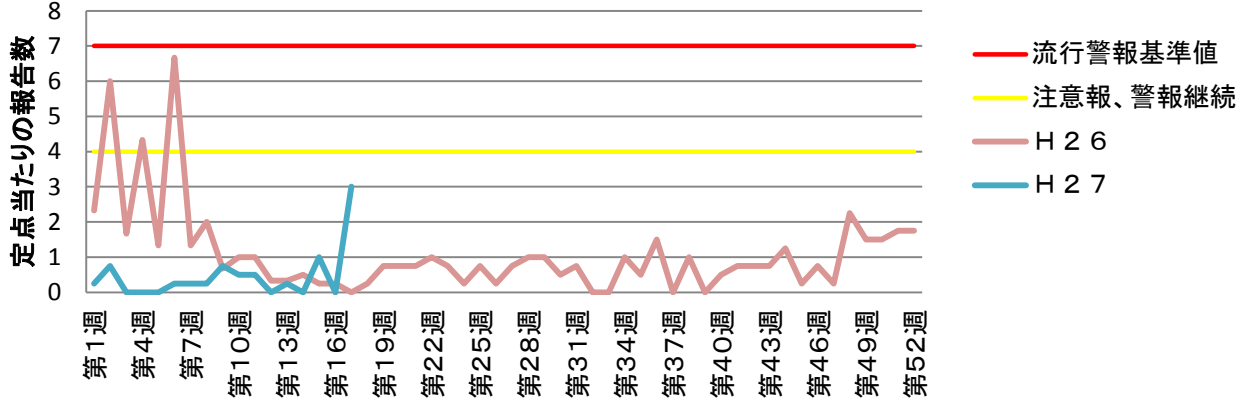
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



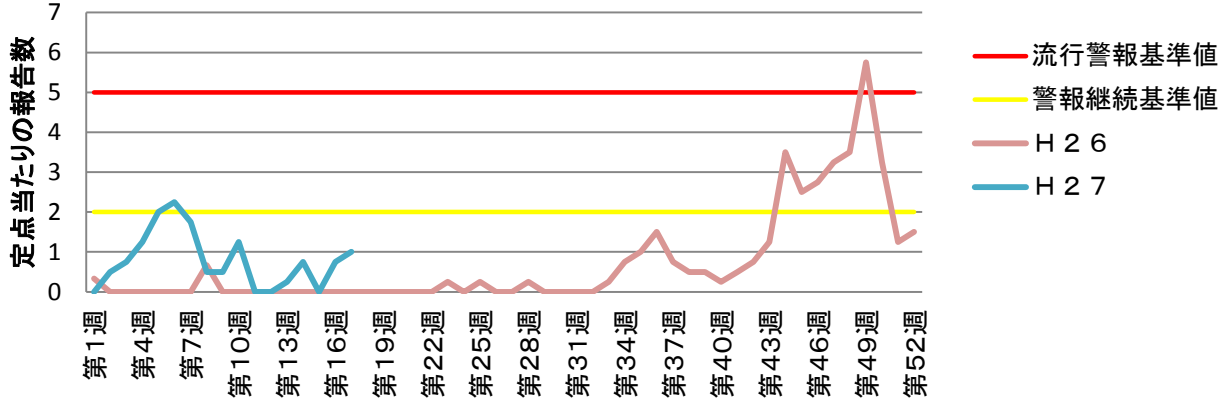
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



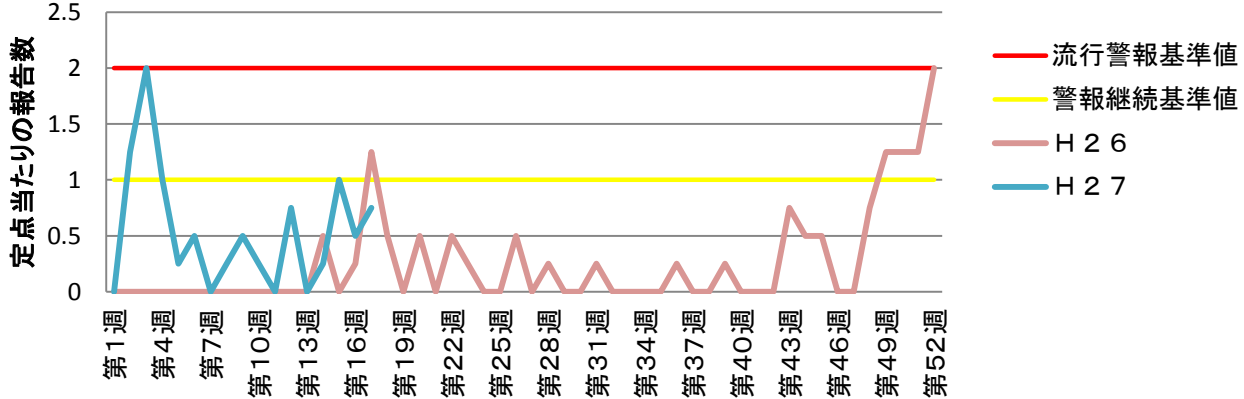
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



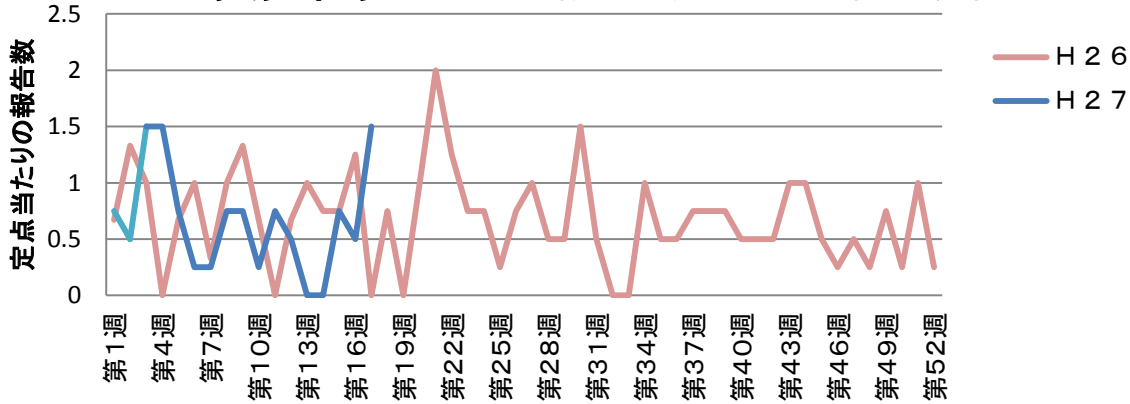
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



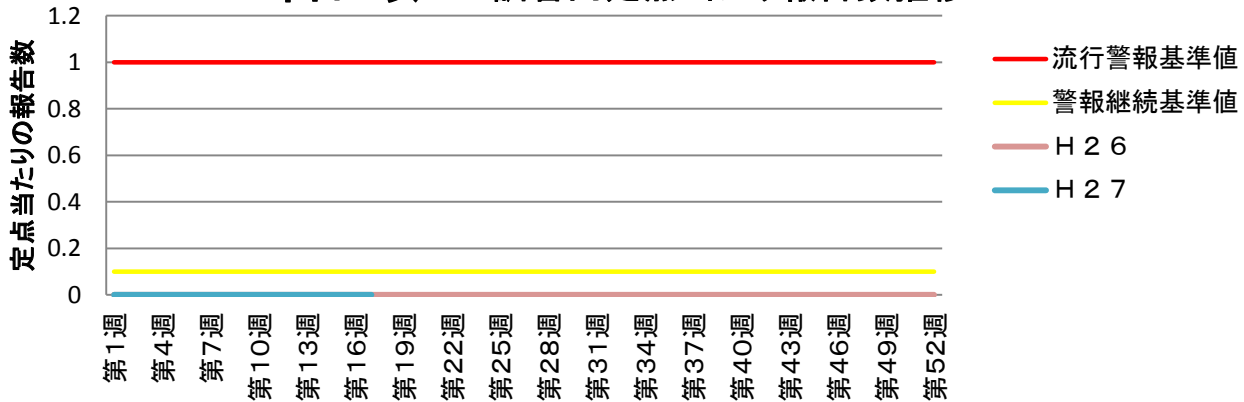
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



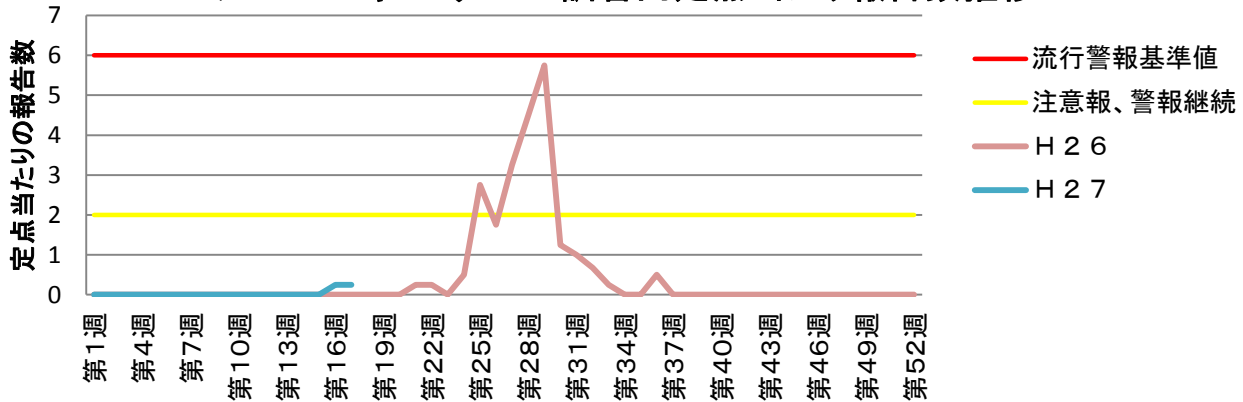
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

